

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

**第6章**

第7章

第8章

資料編

## 第6章 防災指針

## 第6章 防災指針

本町は、町の中央を流れる涸沼川をはじめ、涸沼前川や寛政川の3本の川が流れ、東端に位置する涸沼に注いでおり、これらの周辺を中心として浸水想定区域や氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域等が存在し、その中には既存の市街地も含まれています。

本町の集約と連携のまちづくりは、安全な暮らしの確保を図るため、災害リスクの特に高い場所を居住誘導区域に含めないことを基本にしますが、一部の居住誘導区域に災害リスクが残存することから、これらのリスクに対して計画的かつ着実に必要な防災・減災対策に取り組むため、防災指針を定めます。

### 1. 災害リスクの把握

#### ■ 災害リスクの把握で用いる情報

災害の種類	災害リスクの把握で用いる情報	想定されるリスク
洪水	浸水想定区域（想定最大規模）	河川の氾濫により、浸水深 3.0m 未満では 1 階部分への浸水被害、浸水深 3.0m 以上では 2 階以上への浸水被害のおそれ
	浸水想定区域（計画規模）	0.5m 以上の浸水が一定期間継続するおそれ
	浸水想定区域（浸水継続時間）	0.5m 以上の浸水が一定期間継続するおそれ
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食）	河川の氾濫により家屋倒壊等のおそれ
	【参考】浸水区域の実績（令和元年東日本台風）	-
土砂災害	土砂災害警戒区域	土砂崩れのおそれ
	土砂災害特別警戒区域	
大規模盛土造成地の滑落崩壊	大規模盛土造成地の位置	滑動崩落のおそれ 〔※ただし、本町においては、市街地開発事業や開発許可制度における国や県の技術基準を満たした適切な盛土造成のため、崩落リスクは低い〕

#### ■ 重ね合わせる立地施設

指定緊急避難場所及び多くの町民が集まる施設や高齢者等の避難行動要支援者の利用が想定される以下の立地施設を重ね合わせることで、災害リスクを把握します。

施設機能	具体的な施設
指定緊急避難場所	● 洪水の指定緊急避難場所
行政機能	● 町役場（駒場庁舎を含む） ● 消防庁舎
医療機能	● 病院 ● 診療所（診療項目に内科・外科・小児科にいずれかを含むもの）
福祉機能	● 高齢者・障がい者福祉施設（通所型・入所型） ● 子育て施設（幼稚園・保育所・認定こども園・小規模保育園） ● 福祉センター
教育機能	● 小学校 ● 中学校 ● 高等学校
商業機能	● スーパーマーケット ● ドラッグストア ● コンビニ ● 娯楽施設
文化機能	● 図書館 ● 中央公民館大ホール
金融機能	● 銀行 ● 信用金庫 ● JA バンク ● ゆうちょ銀行

## ※補足

<p><b>指定緊急避難場所</b></p> <p>災害による危険が切迫した状況において、命を守るためにその危険から逃れるために緊急的に避難する場所として、津波、洪水、土砂災害等の災害種別ごとに市町村長が指定する。</p>
<p><b>浸水想定区域（想定最大規模）</b></p> <p>想定し得る最大規模の降雨（計画規模を上回るもの）を前提として指定された浸水想定区域。想定最大規模の降雨は1/1000年確率規模程度（1年間に発生する確率が0.1%程度）とされる。平成27年の水防法の改正により想定最大規模の降雨を前提に浸水想定区域を指定することとなった。</p>
<p><b>浸水想定区域（計画規模）</b></p> <p>洪水の発生を防止するための河川整備計画等を策定する際に対策の目標とされる降雨を前提として指定された浸水想定区域。計画規模の降雨は一級河川においては一般的に1/100～1/200年確率規模（1年間に発生する確率が1%～0.5%）、中小河川においては河川の重要度等に応じて一般的に1/50～1/100年確率規模（2%～1%）とされる例が多い。</p>
<p><b>浸水想定区域（浸水継続時間）</b></p> <p>浸水地点において浸水深が50cmに到達してから50cmを下回るまでの時間。</p>
<p><b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b></p> <p>想定最大規模の降雨において、堤防の決壊などにより家屋が流出・倒壊する激しい水の流れが生じるおそれがある区域。「氾濫流」と、「河岸浸食」に区分される。</p> <p>【氾濫流】堤防の決壊または洪水氾濫流によって木造家屋の倒壊のおそれがある。</p> <p>【河岸浸食】洪水によって河岸（地盤）が侵食されることで、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある。</p>
<p><b>浸水区域の実績（令和元年東日本台風）</b></p> <p>令和元年東日本台風（台風19号）は、2019年（令和元年）10月6日に発生し、12日に日本に上陸した台風で、本町においても住宅の浸水被害などが生じた。</p>
<p><b>土砂災害警戒区域等</b></p> <p>土砂災害が発生した際に人命に関わる被害が生じるおそれがあると認められる区域で、危険性のレベルにより「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」と「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」に区分される。</p> <p>【土砂災害警戒区域（イエローゾーン）】</p> <p>土砂災害が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域で、土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域。</p> <p>【土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）】</p> <p>土砂災害が発生した場合に建築物の損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。</p>
<p><b>大規模盛土造成地</b></p> <p>谷や沢を土で埋めたり、傾斜地に盛土をしたりして造成した宅地のうち、以下の「谷埋め型」が「腹付け型」に該当するものを「大規模盛土造成地」という。</p> <p>【谷埋め型】谷や沢を埋めて造成した盛土面積が3,000㎡以上の造成宅地</p> <p>【腹付け型】盛土をする前の地盤面が水平面に対して20度以上の角度で、盛土の高さが5m以上の造成宅地</p>

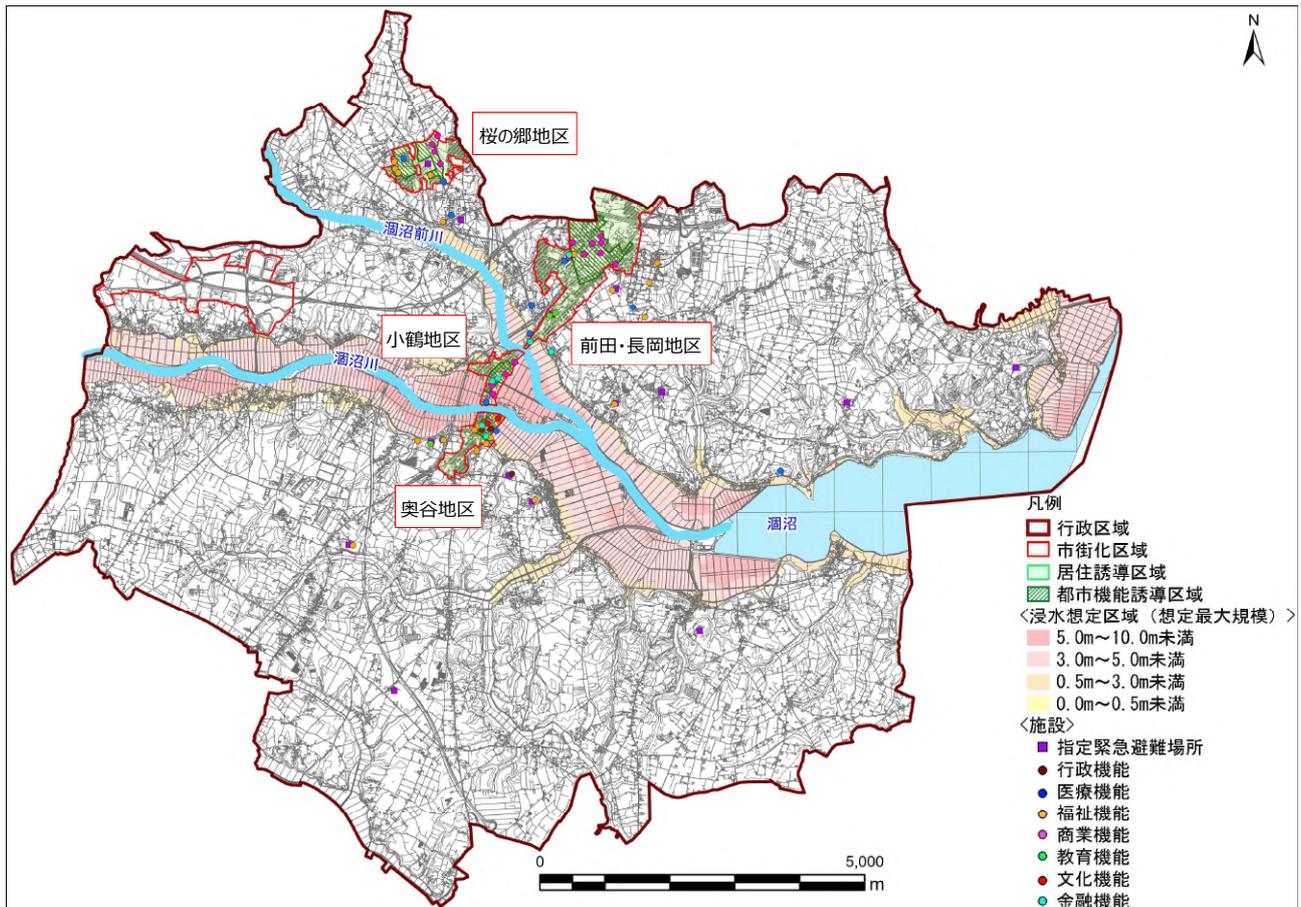
(1)洪水のリスク

①浸水想定区域（想定最大規模）

- ・想定最大規模の浸水想定区域においては、町全域の 13.9%、住居系市街地(住居系用途地域の市街化区域)の 14.4%を占めます。また区域内の人口は、町全域で 4,002 人、住居系市街地で 380 人が居住していると推定されます。
- ・市街地については、前田・長岡地区南部の一部が浸水想定区域となっているほか、小鶴地区及び奥谷地区では居住誘導区域に浸水想定区域が含まれている状況であり、浸水深 3.0m 以上のエリアも多く存在します。

		町全域	住居系市街地
浸水想定区域 (3.0m 未満)	面積 (ha) (割合 (%))	543.2 (4.5)	28.2 (8.7)
	区域内人口 (人)	1,980	263
浸水想定区域 (3.0m 以上)	面積 (ha) (割合 (%))	1,138.7 (9.4)	18.4 (5.7)
	区域内人口 (人)	2,022	117
合 計	面積 (ha) (割合 (%))	1,681.9 (13.9)	46.6 (14.4)
	区域内人口 (人)	4,002	380

※区域内人口は平成 27 年度の国勢調査結果から作成された 500m メッシュ人口を区域で面積按分して算出した参考値



出典：濁沼川洪水浸水想定区域図作成業務委託報告書

■市街地ごとのリスク

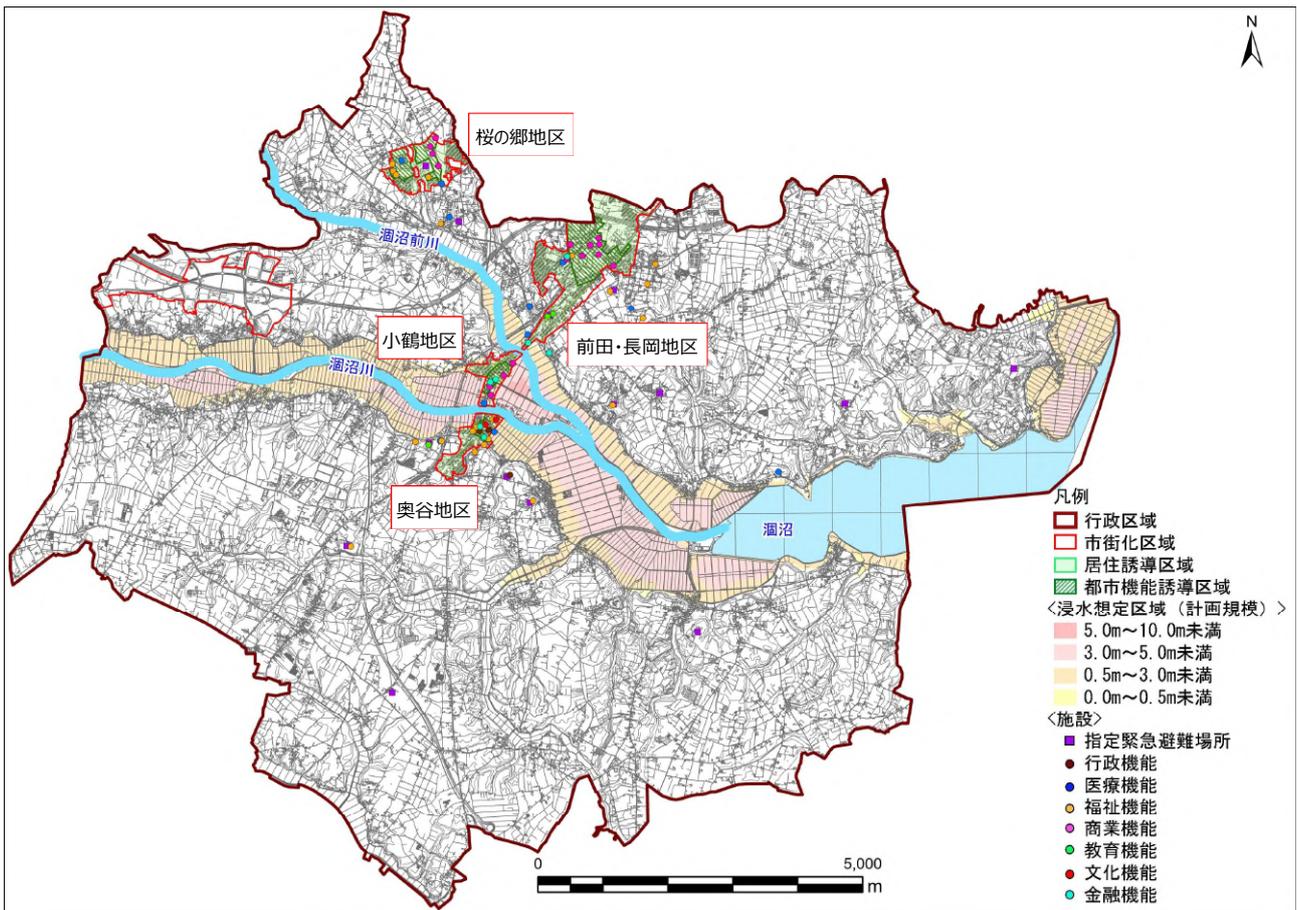
<p>前田・長岡地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存住宅等が浸水エリアに含まれます</li> <li>●居住誘導区域も浸水エリアに含まれ、1施設が立地しています 〔金融機関1〕 ※浸水深3.0m未滿</li> </ul>			
<p>小鶴地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●小鶴地区の大半が浸水エリアに含まれます ※地区の概ね南半分ほどは浸水深3.0m以上が多い</li> <li>●浸水エリア内に住宅等のほか7施設が立地しています 〔コンビニ3 スーパーマーケット1 医療施設1 金融機関2〕</li> <li>●小鶴地区内に指定緊急避難場所がないため、避難が遅れるおそれがあります</li> </ul>			
<p>奥谷地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●奥谷地区の北部が浸水エリアに含まれます</li> <li>●浸水エリア内に住宅等のほか9施設が立地しています 〔町役場1 消防署1 福祉施設3 小規模保育園1 図書館1 中央公民館1 金融機関2〕</li> <li>●奥谷地区内に指定緊急避難場所がないため、避難が遅れるおそれがあります</li> </ul>			
<p>凡例</p> <table border="0"> <tr> <td> <p>行政区域</p> <p>市街化区域</p> <p>居住誘導区域</p> <p>都市機能誘導区域</p> </td> <td> <p>＜浸水想定区域（想定最大規模）＞</p> <p>5.0m~10.0m未滿</p> <p>3.0m~5.0m未滿</p> <p>0.5m~3.0m未滿</p> <p>0.0m~0.5m未滿</p> </td> <td> <p>＜施設＞</p> <p>指定緊急避難場所</p> <p>行政機能</p> <p>医療機能</p> <p>福祉機能</p> <p>商業機能</p> <p>教育機能</p> <p>文化機能</p> <p>金融機能</p> </td> </tr> </table>			<p>行政区域</p> <p>市街化区域</p> <p>居住誘導区域</p> <p>都市機能誘導区域</p>	<p>＜浸水想定区域（想定最大規模）＞</p> <p>5.0m~10.0m未滿</p> <p>3.0m~5.0m未滿</p> <p>0.5m~3.0m未滿</p> <p>0.0m~0.5m未滿</p>	<p>＜施設＞</p> <p>指定緊急避難場所</p> <p>行政機能</p> <p>医療機能</p> <p>福祉機能</p> <p>商業機能</p> <p>教育機能</p> <p>文化機能</p> <p>金融機能</p>
<p>行政区域</p> <p>市街化区域</p> <p>居住誘導区域</p> <p>都市機能誘導区域</p>	<p>＜浸水想定区域（想定最大規模）＞</p> <p>5.0m~10.0m未滿</p> <p>3.0m~5.0m未滿</p> <p>0.5m~3.0m未滿</p> <p>0.0m~0.5m未滿</p>	<p>＜施設＞</p> <p>指定緊急避難場所</p> <p>行政機能</p> <p>医療機能</p> <p>福祉機能</p> <p>商業機能</p> <p>教育機能</p> <p>文化機能</p> <p>金融機能</p>			

②浸水想定区域（計画規模）

- ・計画規模の浸水想定区域においては、町全域の 11.7%、住居系市街地(住居系用途地域の市街化区域)の 12.7%を占めます。また、区域内の人口は、町全域で 2,980 人、住居系市街地で 317 人が居住していると推定されます。
- ・市街地については、前田・長岡地区南部の一部（浸水深 3.0m 未満）が浸水想定区域となっているほか、小鶴地区及び奥谷地区では居住誘導区域に浸水想定区域が含まれている状況であり、小鶴地区では浸水深 3.0m 以上のエリアも存在します。

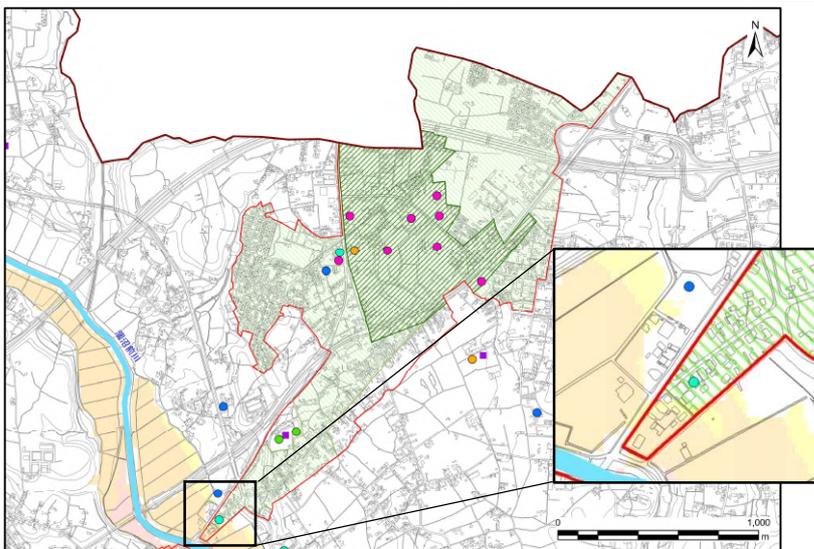
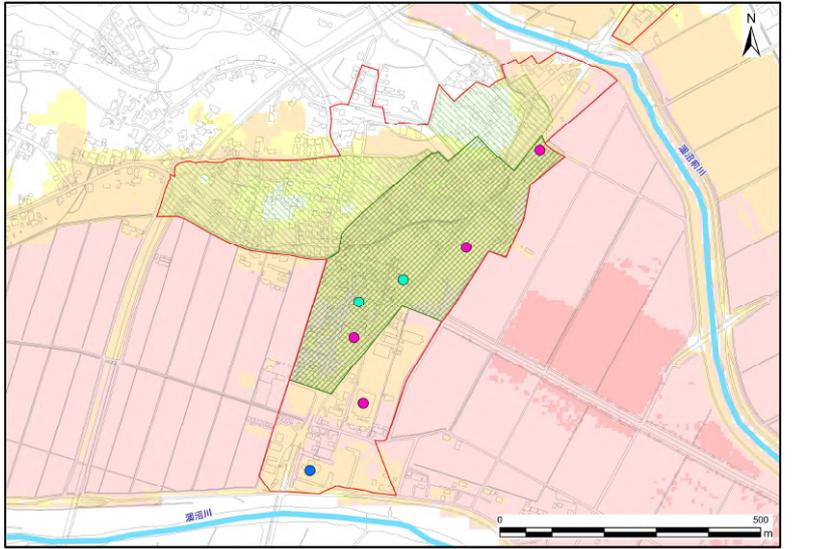
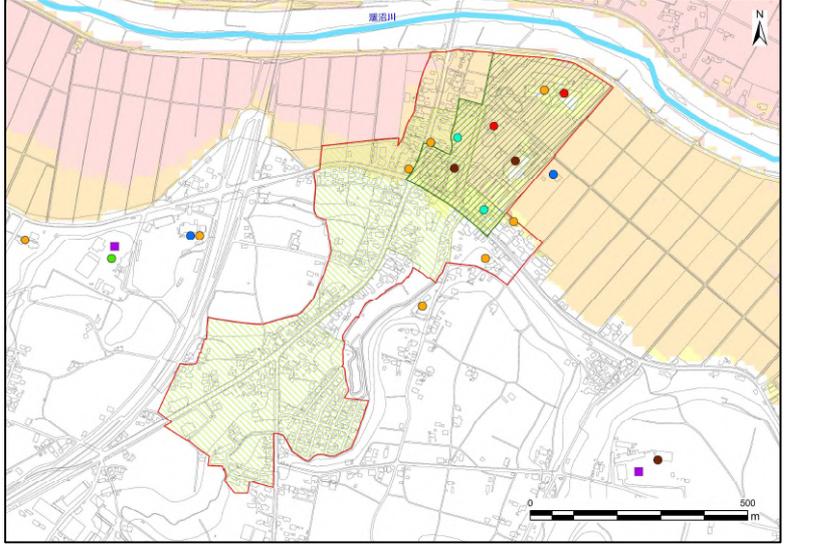
		町全域	住居系市街地
浸水想定区域 (3.0m 未満)	面積 (ha) (割合 (%))	872.4 (7.2)	37.1 (11.4)
	区域内人口 (人)	2,155	292
浸水想定区域 (3.0m 以上)	面積 (ha) (割合 (%))	550.0 (4.5)	4.2 (1.3)
	区域内人口 (人)	825	25
合 計	面積 (ha) (割合 (%))	1,422.4 (11.7)	41.3 (12.7)
	区域内人口 (人)	2,980	317

※区域内人口は平成 27 年度の国勢調査結果から作成された 500m メッシュ人口を区域で面積按分して算出した参考値



出典：酒沼川洪水浸水想定区域図作成業務委託報告書

■市街地ごとのリスク

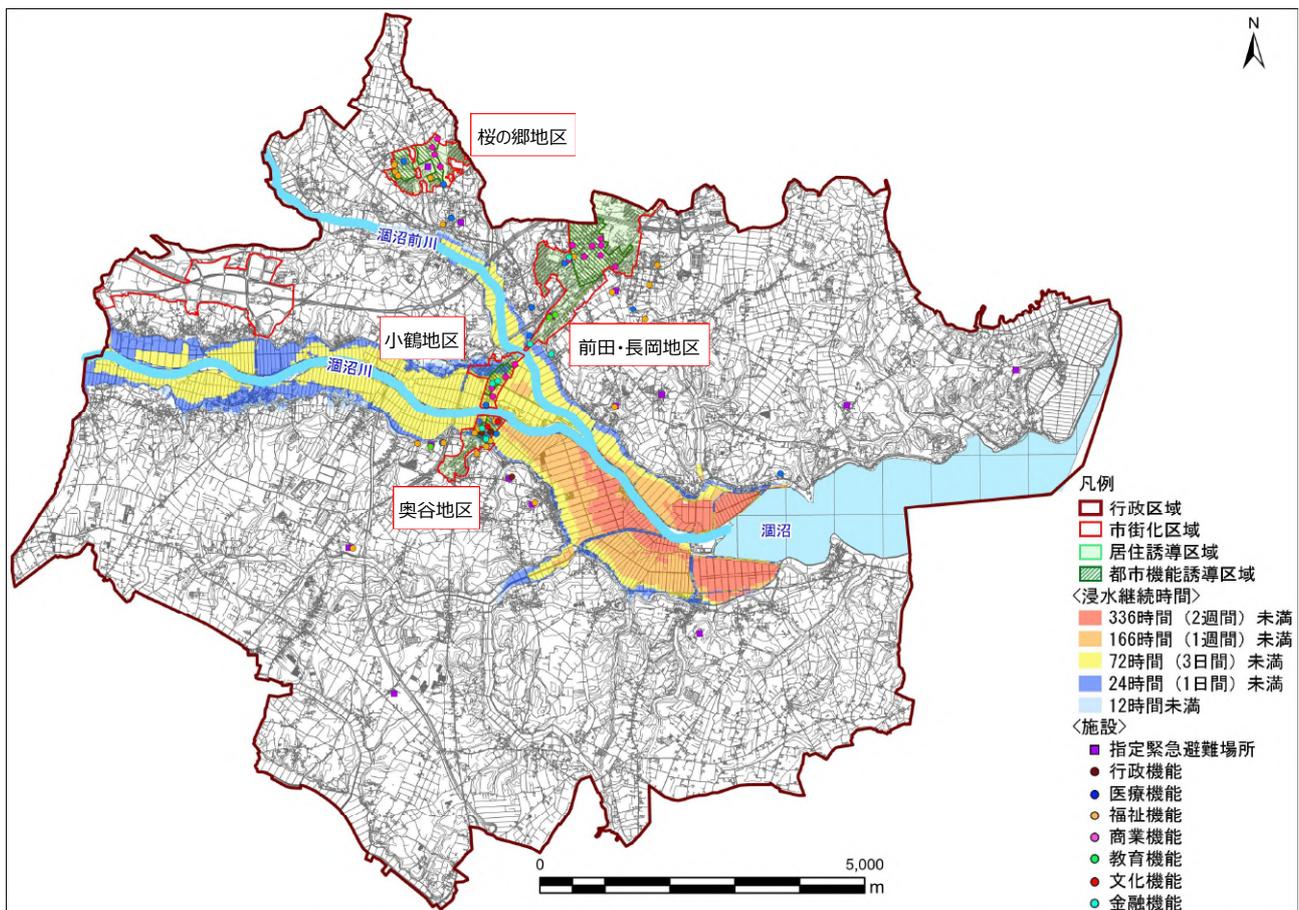
<p>前田・長岡地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅等が浸水エリアに含まれます</li> <li>●居住誘導区域も浸水エリアに含まれます</li> </ul> <p>※いずれも浸水深3.0m未満</p>			
<p>小鶴地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●小鶴地区の大半が浸水エリアに含まれます</li> </ul> <p>※浸水深 3.0m 未満</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●浸水エリア内に住宅等のほか 5 施設が立地しています</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニ 3</li> <li>スーパーマーケット 1</li> <li>医療施設 1</li> <li>金融機関 2</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小鶴地区内に指定緊急避難場所がないため、避難が遅れるおそれがあります</li> </ul>			
<p>奥谷地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●奥谷地区の北部が浸水エリアに含まれます</li> </ul> <p>※浸水深 3.0m 未満</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●浸水エリア内に住宅等のほか 6 施設が立地しています</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>町役場 1</li> <li>消防署 1</li> <li>福祉施設 3</li> <li>小規模保育園 1</li> <li>図書館 1</li> <li>中央公民館 1</li> <li>金融機関 2</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●奥谷地区内に指定緊急避難場所がないため、避難が遅れるおそれがあります</li> </ul>			
<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 行政区</li> <li><span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 市街化区域</li> <li><span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 居住誘導区域</li> <li><span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 都市機能誘導区域</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>&lt;浸水想定区域（計画規模）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 5.0m～10.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fce4d6; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 3.0m～5.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fff2cc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 0.5m～3.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 0.0m～0.5m未満</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>&lt;施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;"><span style="color: purple;">●</span> 指定緊急避難場所</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: purple;">●</span> 商業機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: blue;">●</span> 行政機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: blue;">●</span> 教育機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: green;">●</span> 医療機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: green;">●</span> 文化機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: orange;">●</span> 福祉機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: orange;">●</span> 金融機能</li> </ul> </td> </tr> </table>			<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 行政区</li> <li><span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 市街化区域</li> <li><span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 居住誘導区域</li> <li><span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 都市機能誘導区域</li> </ul>	<p>&lt;浸水想定区域（計画規模）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 5.0m～10.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fce4d6; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 3.0m～5.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fff2cc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 0.5m～3.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 0.0m～0.5m未満</li> </ul>	<p>&lt;施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;"><span style="color: purple;">●</span> 指定緊急避難場所</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: purple;">●</span> 商業機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: blue;">●</span> 行政機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: blue;">●</span> 教育機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: green;">●</span> 医療機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: green;">●</span> 文化機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: orange;">●</span> 福祉機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: orange;">●</span> 金融機能</li> </ul>
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 行政区</li> <li><span style="border: 1px solid orange; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 市街化区域</li> <li><span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 居住誘導区域</li> <li><span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 都市機能誘導区域</li> </ul>	<p>&lt;浸水想定区域（計画規模）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="background-color: #f4cccc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 5.0m～10.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fce4d6; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 3.0m～5.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fff2cc; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 0.5m～3.0m未満</li> <li><span style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #ccc; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; margin-right: 5px;"></span> 0.0m～0.5m未満</li> </ul>	<p>&lt;施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;"><span style="color: purple;">●</span> 指定緊急避難場所</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: purple;">●</span> 商業機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: blue;">●</span> 行政機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: blue;">●</span> 教育機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: green;">●</span> 医療機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: green;">●</span> 文化機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: orange;">●</span> 福祉機能</li> <li style="width: 50%;"><span style="color: orange;">●</span> 金融機能</li> </ul>			

### ③ 浸水想定区域（浸水継続時間）：浸水継続 72 時間以上

- ・本町の浸水想定区域内には、72 時間（3 日間）以上の浸水継続が想定される区域が存在します。
- ・浸水継続時間 72 時間（3 日間）以上の区域には、町全域で 374 人が居住していると推定されます。
- ・市街地については、前田・長岡地区、小鶴地区、奥谷地区において 72 時間（3 日間）未満の浸水継続が想定されます。

		町全域	住居系用市街地
浸水継続 72 時間以上	面積 (ha) (割合 (%))	419.0 (3.4)	0.02 (0.01)
	区域内人口 (人)	374	0

※区域内人口は平成 27 年度の国勢調査結果から作成された 500m メッシュ人口を区域で面積按分して算出した参考値



出典：涸沼川整備効果検証業務委託報告書

※出典元の資料において、涸沼川の涸沼大橋から下流部のデータは存在しないため、表示・記載していない

■市街地ごとのリスク

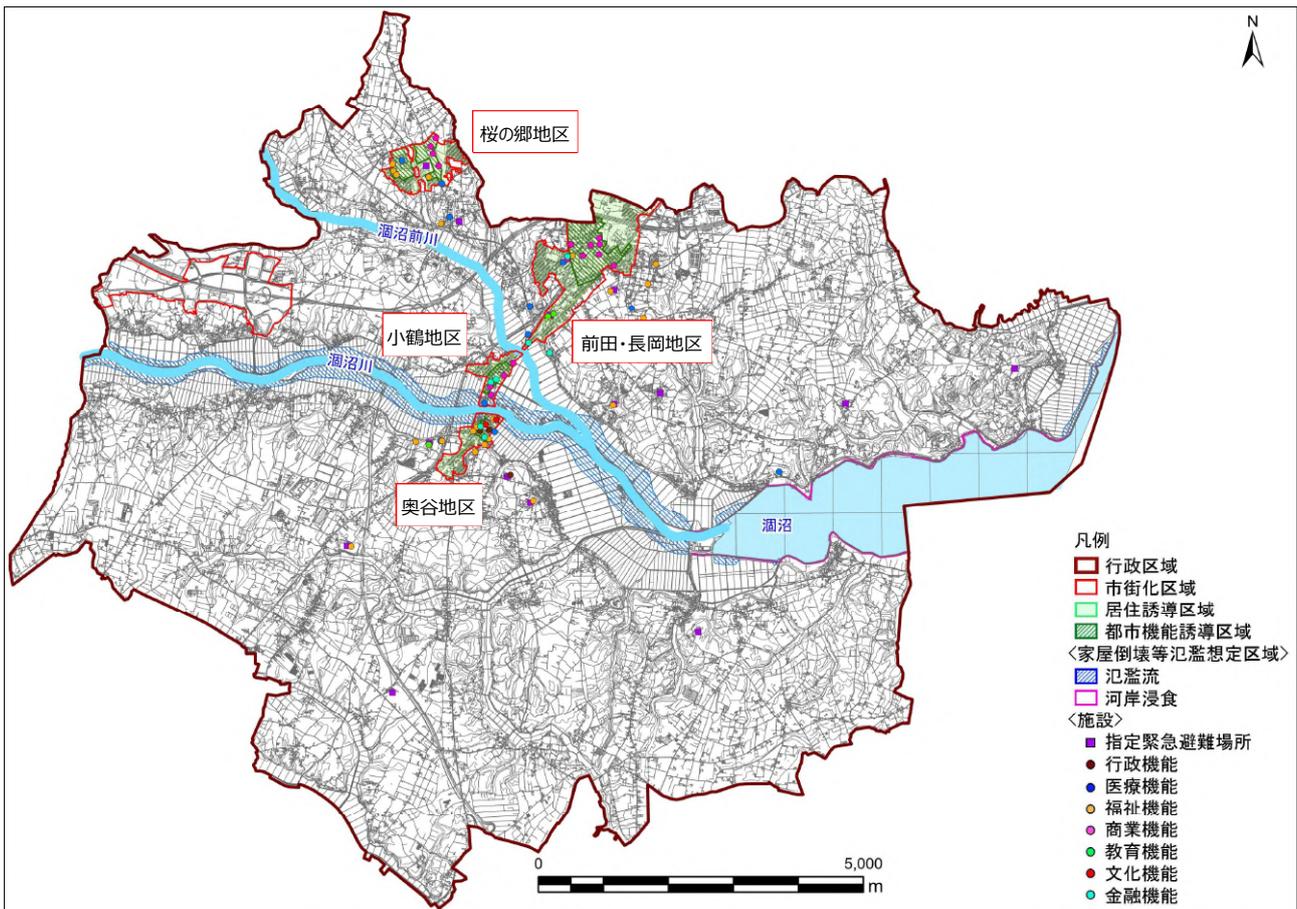
<p>前田・長岡地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●2日間未満の浸水継続が想定されます</li> <li>※最大値 43.9時間</li> </ul>			
<p>小鶴地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●3日間未満の浸水継続が想定され、その範囲は地区の概ね南半分ほどを占めます</li> <li>※最大値 60.2時間</li> </ul>			
<p>奥谷地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●最大で1週間未満の浸水継続が想定されます</li> <li>●防災拠点となる役場や消防本部の周辺においても最大3日間未満の浸水継続が想定されます</li> <li>※最大値 62.5時間</li> </ul>			
<table border="0"> <tr> <td data-bbox="159 1915 351 2027"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政区域</li> <li>市街化区域</li> <li>居住誘導区域</li> <li>都市機能誘導区域</li> </ul> </td> <td data-bbox="414 1915 877 2027"> <p>＜浸水継続時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>336時間（2週間）未満</li> <li>166時間（1週間）未満</li> <li>72時間（3日間）未満</li> <li>24時間（1日間）未満</li> <li>12時間未満</li> </ul> </td> <td data-bbox="909 1915 1228 2027"> <p>＜施設＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>行政機能</li> <li>医療機能</li> <li>福祉機能</li> <li>商業機能</li> <li>教育機能</li> <li>文化機能</li> <li>金融機能</li> </ul> </td> </tr> </table>			<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政区域</li> <li>市街化区域</li> <li>居住誘導区域</li> <li>都市機能誘導区域</li> </ul>	<p>＜浸水継続時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>336時間（2週間）未満</li> <li>166時間（1週間）未満</li> <li>72時間（3日間）未満</li> <li>24時間（1日間）未満</li> <li>12時間未満</li> </ul>	<p>＜施設＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>行政機能</li> <li>医療機能</li> <li>福祉機能</li> <li>商業機能</li> <li>教育機能</li> <li>文化機能</li> <li>金融機能</li> </ul>
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政区域</li> <li>市街化区域</li> <li>居住誘導区域</li> <li>都市機能誘導区域</li> </ul>	<p>＜浸水継続時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>336時間（2週間）未満</li> <li>166時間（1週間）未満</li> <li>72時間（3日間）未満</li> <li>24時間（1日間）未満</li> <li>12時間未満</li> </ul>	<p>＜施設＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>行政機能</li> <li>医療機能</li> <li>福祉機能</li> <li>商業機能</li> <li>教育機能</li> <li>文化機能</li> <li>金融機能</li> </ul>			

④家屋倒壊等氾濫想定区域

- ・氾濫流は主に潤沼川流域、河岸浸食は潤沼の縁辺部に指定されており、町全域の 1.14%、住居系市街地(住居系用途地域の市街化区域)の 2.3%を占めます。
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域内には、町全域で 416 人、住居系市街地で 21 人が居住していると推定されます。
- ・市街地については、小鶴地区及び奥谷地区の一部が氾濫流に指定されており、奥谷地区は都市機能誘導区域が含まれている。

		町全域	住居系市街地
家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	面積 (ha) (割合 (%))	122.1 (1.0)	7.5 (2.3)
	区域内人口 (人)	389	27
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)	面積 (ha) (割合 (%))	16.7 (0.14)	0 (0)
	区域内人口 (人)	27	0
合計	面積 (ha) (割合 (%))	138.8 (1.14)	7.5 (2.3)
	区域内人口 (人)	416	21

※区域内人口は平成 27 年度の国勢調査結果から作成された 500m メッシュ人口を区域で面積按分して算出した参考値



出典：茨城町洪水ハザードマップ、潤沼川洪水浸水想定区域図作成業務委託報告書

■市街地ごとのリスク

<p>小鶴地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●家屋倒壊等氾濫想定区域内に住宅等のほか2施設が立地しています 〔スーパーマーケット1〕 〔医療施設1〕</li> <li>●小鶴地区内に指定緊急避難場所がないため、避難の遅れが想定されます</li> </ul>			
<p>奥谷地区</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●家屋倒壊等氾濫想定区域内に住宅等のほか2施設が立地しています 〔福祉施設1〕 〔図書館1〕</li> <li>●奥谷地区内に指定緊急避難場所がないため、避難の遅れが想定されます</li> </ul>			
<table border="0"> <tr> <td> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政区</li> <li>市街化区域</li> <li>居住誘導区域</li> <li>都市機能誘導区域</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)</li> </ul> </td> <td> <p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>行政機能</li> <li>医療機能</li> <li>福祉機能</li> <li>商業機能</li> <li>教育機能</li> <li>文化機能</li> <li>金融機能</li> </ul> </td> </tr> </table>			<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政区</li> <li>市街化区域</li> <li>居住誘導区域</li> <li>都市機能誘導区域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)</li> </ul>	<p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>行政機能</li> <li>医療機能</li> <li>福祉機能</li> <li>商業機能</li> <li>教育機能</li> <li>文化機能</li> <li>金融機能</li> </ul>
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政区</li> <li>市街化区域</li> <li>居住誘導区域</li> <li>都市機能誘導区域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)</li> </ul>	<p>〈施設〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定緊急避難場所</li> <li>行政機能</li> <li>医療機能</li> <li>福祉機能</li> <li>商業機能</li> <li>教育機能</li> <li>文化機能</li> <li>金融機能</li> </ul>			

**【参考】 令和元年東日本台風（台風 19 号）での本町の浸水被害について**

令和元年東日本台風（台風 19 号）は、2019 年（令和元年）10 月 6 日に発生し、12 日に日本に上陸した台風で、本町においても住宅の浸水被害などが生じました。

浸水被害が生じた建物は涸沼北側の縁辺部や涸沼川周辺に集中しており、ハザードマップに示される浸水想定区域内での被害が発生した結果となりました。

**■本町の被害状況**

人的被害					住家被害					非住家被害	
死者	行方不明者	負傷者			全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
		重症	中等傷	軽傷							
0	0	0	0	0	0	0	19	3	12	0	0

出典：茨城県「令和元年台風第 19 号に係る人的・物的被害状況について」

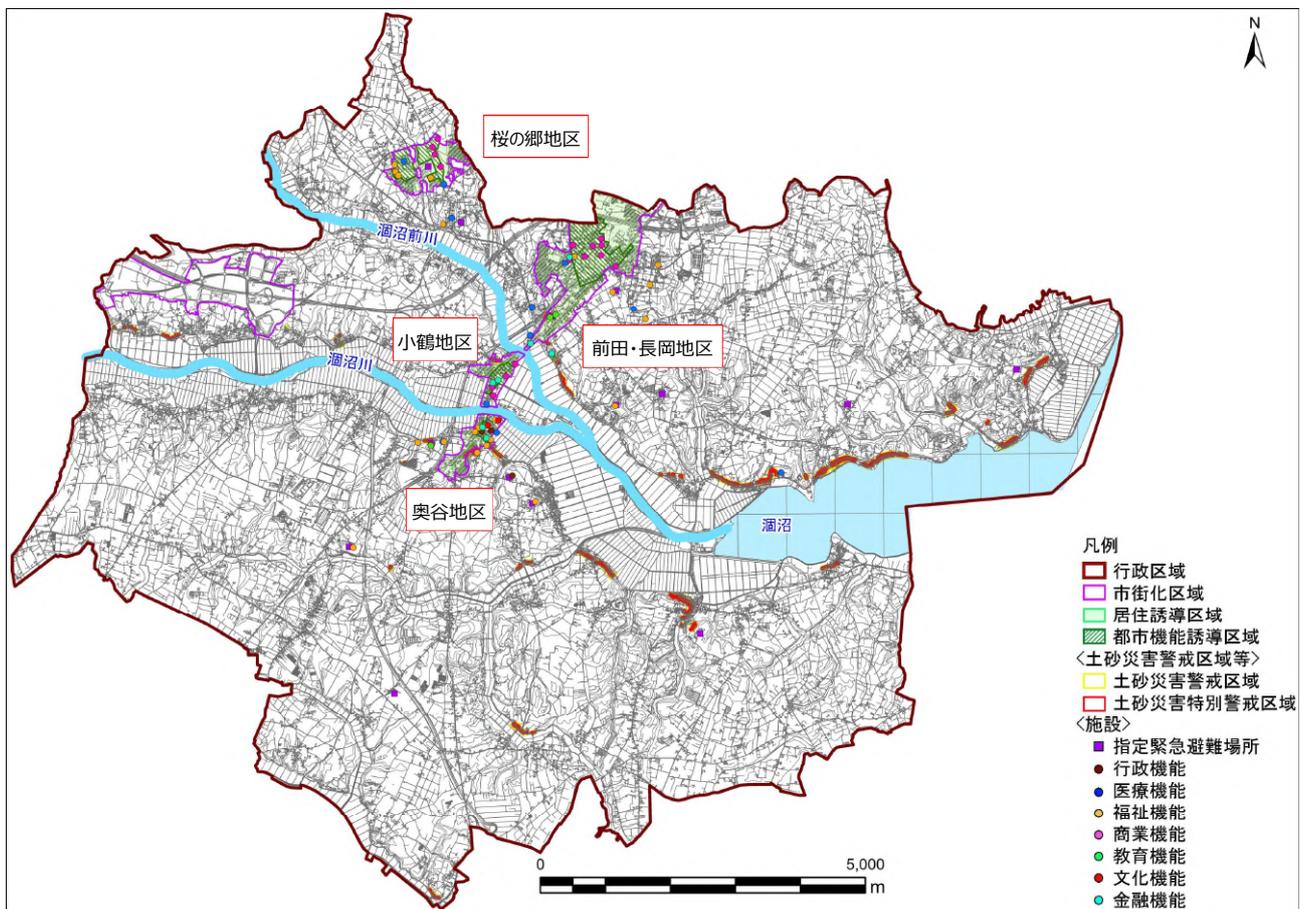
## (2)土砂災害のリスク

### ①土砂災害警戒区域等

- ・涸沼川流域、涸沼前川流域を中心に土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が指定され、町全域の0.38%、住居系市街地(住居系用途地域の市街化区域)の0.56%を占めます。
- ・区域内人口は、町全域で189人、住居系市街地で23人が居住していると推定されます。
- ・市街地では、前田・長岡地区、小鶴地区、奥谷地区において指定があります。

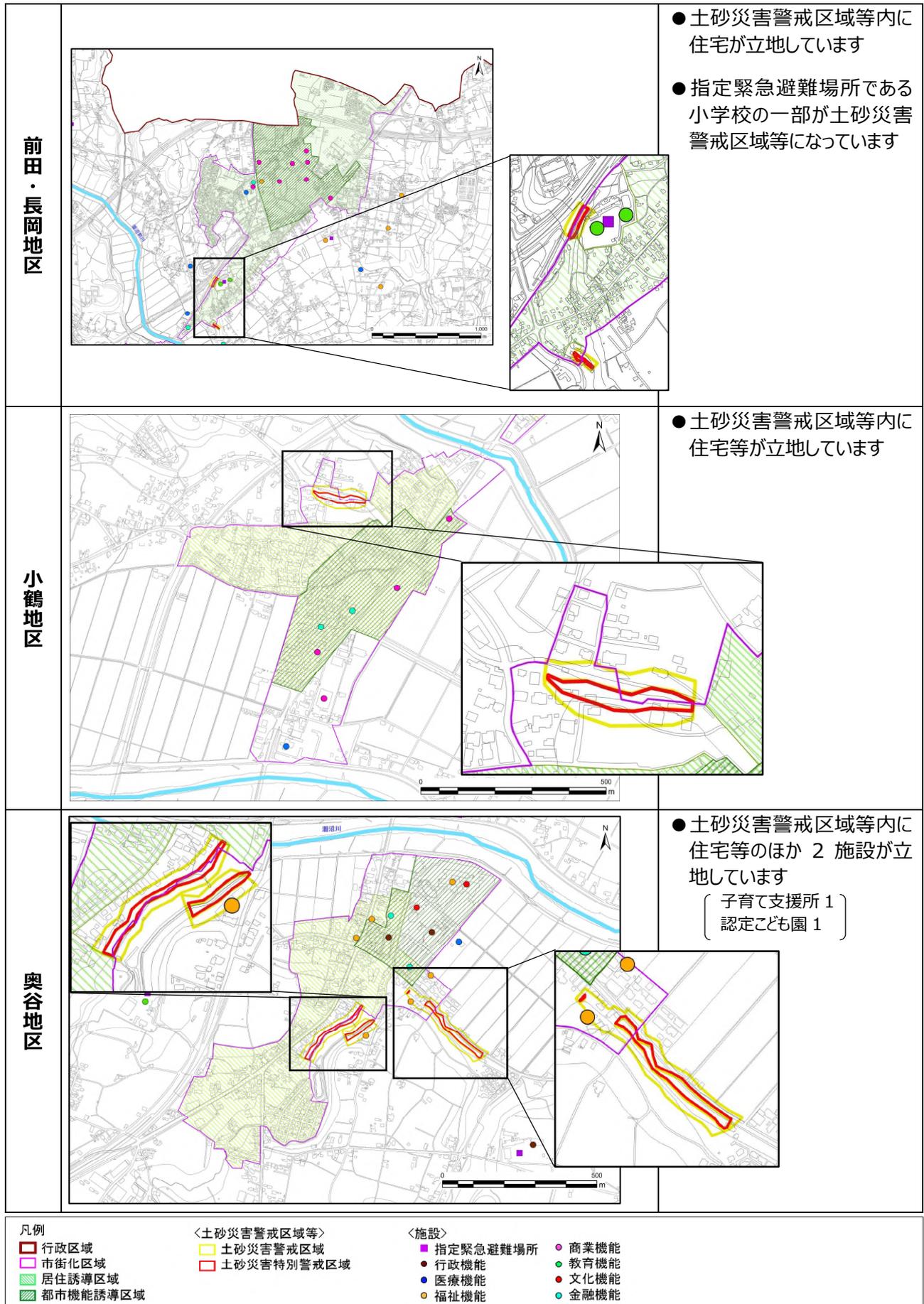
		町全域	住居系市街地
土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	面積(ha) (割合(%))	45.7 (0.38)	1.8 (0.56)
	区域内人口(人)	189	23

※区域内人口は平成27年度の国勢調査結果から作成された500mメッシュ人口を区域で面積按分して算出した参考値



出典：茨城町洪水ハザードマップ、茨城町土砂災害ハザードマップ

■市街地ごとのリスク



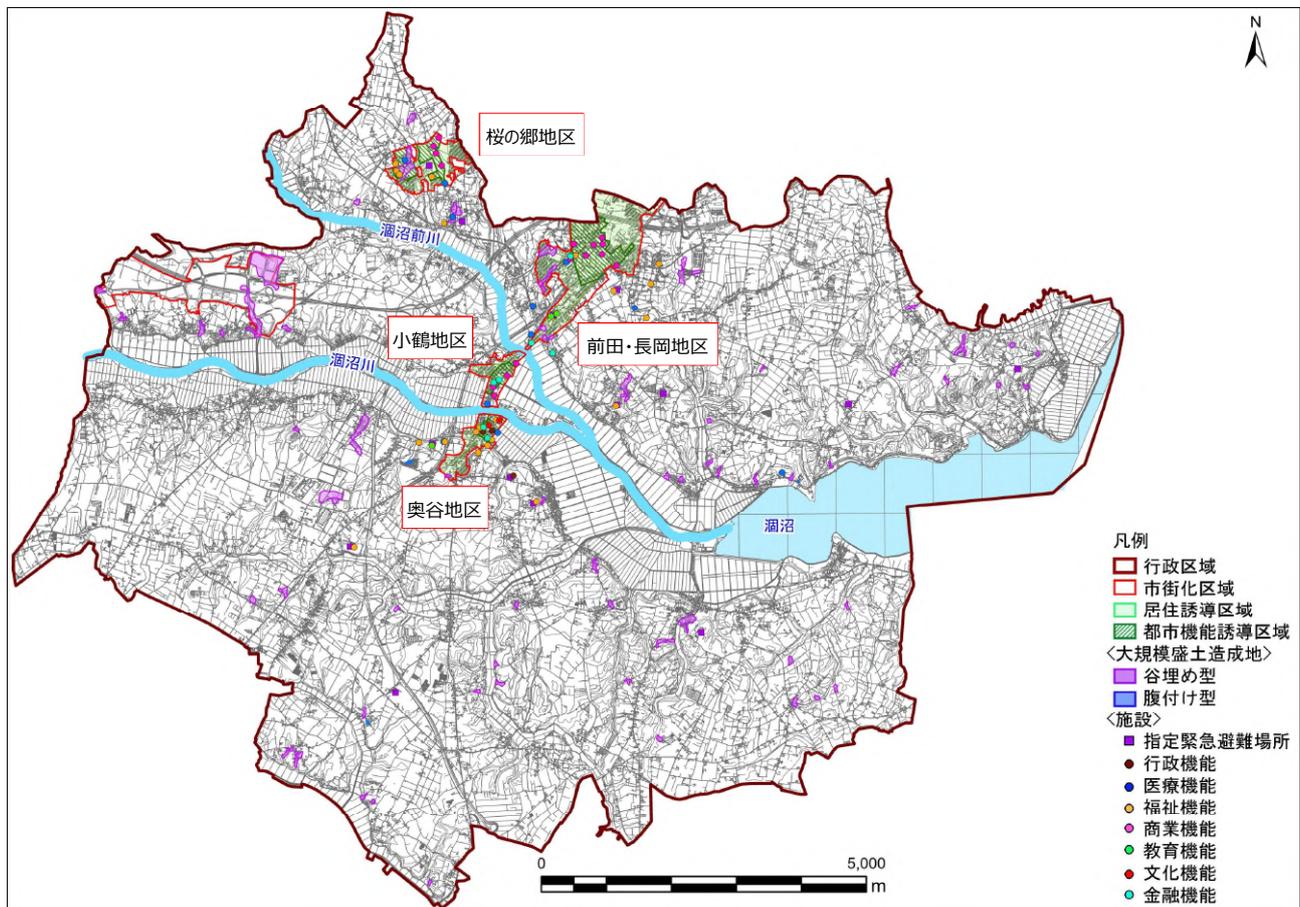
### (3)大規模盛土造成地の滑動崩落のリスク

#### ①大規模盛土造成地の分布状況

- ・大規模盛土造成地は町全域に散在し、町全域の 0.72%、住居系市街地(住居系用途地域の市街化区域)の 3.21%が指定されています。
- ・大規模盛土造成地内には、町全域で 529 人、住居系市街地で 287 人が居住していると推定されます。
- ・市街地では、桜の郷地区、前田・長岡地区の居住誘導区域において存在しています。

		町全域	住居系市街地
大規模盛土造成地	面積(ha)	88.1	10.39
	(割合(%))	(0.72)	(3.21)
	区域内人口(人)	529	287

※区域内人口は平成 27 年度の国勢調査結果から作成された 500m メッシュ人口を区域で面積按分して算出した参考値

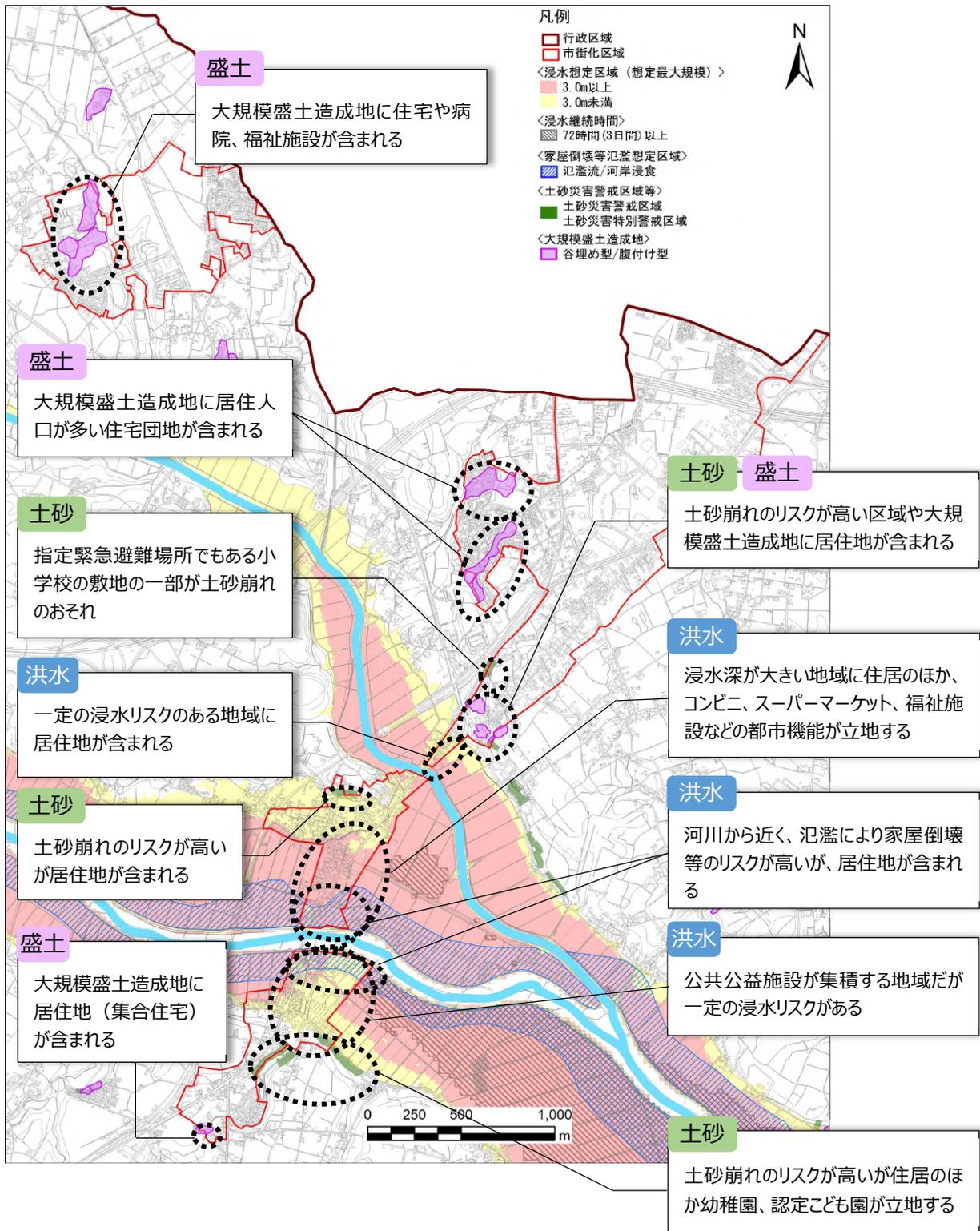


出典：茨城町大規模盛土造成地変動予測調査業務委託報告書

■市街地ごとのリスク

<p>桜の郷地区</p>		<p>●大規模盛土造成地内に住宅のほか 3 施設が立地しています（敷地の一部がかかるものを含む） 〔病院 1 福祉施設 2〕</p>																				
<p>前田・長岡地区</p>		<p>●大規模盛土造成地内に住宅等が立地しています</p>																				
<p>奥谷地区</p>		<p>●大規模盛土造成地内に住宅（集合住宅）が立地しています</p>																				
<table border="0"> <tbody> <tr> <td data-bbox="167 1912 209 1933">凡例</td> <td data-bbox="416 1912 584 1933">＜大規模盛土造成地＞</td> <td data-bbox="655 1912 713 1933">＜施設＞</td> <td data-bbox="863 1935 957 1955">● 商業機能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1935 277 1955">■ 行政区域</td> <td data-bbox="416 1935 528 1955">■ 谷埋め型</td> <td data-bbox="655 1955 839 1975">● 指定緊急避難場所</td> <td data-bbox="863 1955 957 1975">● 教育機能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1955 293 1975">■ 市街化区域</td> <td data-bbox="416 1955 528 1975">■ 腹付け型</td> <td data-bbox="655 1975 767 1995">● 行政機能</td> <td data-bbox="863 1975 957 1995">● 文化機能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1975 312 1995">■ 居住誘導区域</td> <td></td> <td data-bbox="655 1995 767 2016">● 医療機能</td> <td data-bbox="863 1995 957 2016">● 金融機能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="167 1995 349 2016">■ 都市機能誘導区域</td> <td></td> <td data-bbox="655 2016 767 2036">● 福祉機能</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			凡例	＜大規模盛土造成地＞	＜施設＞	● 商業機能	■ 行政区域	■ 谷埋め型	● 指定緊急避難場所	● 教育機能	■ 市街化区域	■ 腹付け型	● 行政機能	● 文化機能	■ 居住誘導区域		● 医療機能	● 金融機能	■ 都市機能誘導区域		● 福祉機能	
凡例	＜大規模盛土造成地＞	＜施設＞	● 商業機能																			
■ 行政区域	■ 谷埋め型	● 指定緊急避難場所	● 教育機能																			
■ 市街化区域	■ 腹付け型	● 行政機能	● 文化機能																			
■ 居住誘導区域		● 医療機能	● 金融機能																			
■ 都市機能誘導区域		● 福祉機能																				

(4)本町で想定される災害リスクのまとめ



※大規模盛土造成地については、市街地開発事業や開発許可制度における国や県の技術基準を満たした適切な盛土造成のため、崩落リスクは低い

## 2. 防災まちづくりの取組方針

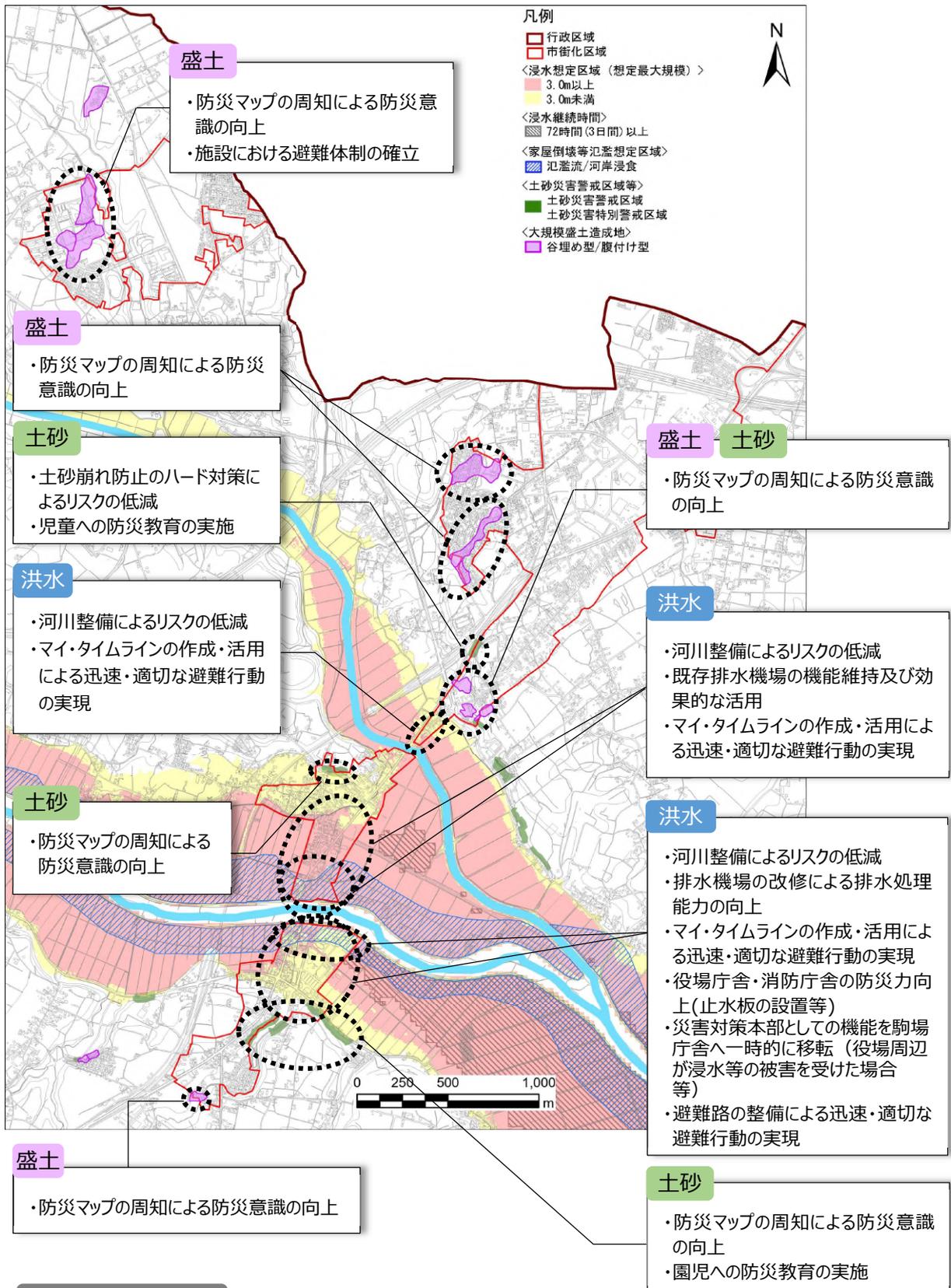
国土交通省では、防災指針の手引きにおいて、各地区の課題を踏まえ、災害ハザードエリアの立地・建築規制や安全な居住誘導区域への立地誘導等による災害リスクの回避と、ハード・ソフト両面での対策による災害リスクの低減を組み合わせた総合的な対策が必要であると示されています。

本町においても、リスクの高い災害ハザードエリアを居住誘導区域から極力除外すること、また、法改正に伴う区域指定制度の指定区域の見直しを実施し、安全な居住誘導区域等への立地誘導や、国や県と連携した河川整備等のハード面での対策のほか、災害リスクについての十分な情報提供を行い、町民一人ひとりが災害リスクをきちんと認識し適切な対策を講じるための支援や、自主防災組織・活動などの地域レベルでのリスクコミュニケーションをさらに充実させ、地域の防災力向上に向けた支援など、ソフト対策の推進を図ります。

### ■ 地区ごとの取組方針

地区	災害リスク	取組方針
桜の郷地区	大規模盛土造成地に住宅や病院、福祉施設が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップの周知による防災意識の向上</li> <li>・施設における避難体制の確立</li> </ul>
前田・長岡地区	大規模盛土造成地に居住人口の多い住宅団地が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップの周知による防災意識の向上</li> </ul>
	土砂崩れのリスクがある区域や大規模盛土造成地に居住地が含まれる	
	指定緊急避難場所でもある小学校の敷地の一部が土砂崩れのおそれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂崩れ防止のハード対策によるリスクの低減</li> <li>・児童への防災教育の実施</li> </ul>
	一定の浸水リスクのある地域に居住地が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備によるリスクの低減</li> <li>・マイ・タイムラインの作成・活用による迅速・適切な避難行動の実現</li> </ul>
小鶴地区	土砂崩れのリスクが高いが居住地が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップの周知による防災意識の向上</li> </ul>
	浸水深が大きい地域に住居のほか、コンビニ、スーパーマーケット、福祉施設などの都市機能が立地する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備によるリスクの低減</li> <li>・既存排水機場の機能維持及び効果的な活用</li> <li>・マイ・タイムラインの作成・活用による迅速・適切な避難行動の実現</li> </ul>
	河川から近く、氾濫により家屋倒壊等のリスクが高いが、居住地が含まれる	
奥谷地区	河川から近く、氾濫により家屋倒壊等のリスクが高いが、居住地が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備によるリスクの低減</li> <li>・排水機場の改修による排水処理能力の向上</li> <li>・マイ・タイムラインの作成・活用による迅速・適切な避難行動の実現</li> </ul>
	公共公益施設が集積する地域だが一定の浸水リスクがある	
	土砂崩れのリスクが高いが住居のほか、子育て支援所、認定こども園が立地する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップの周知による防災意識の向上</li> <li>・園児への防災教育の実施</li> </ul>
	大規模盛土造成地に居住地（集合住宅）が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップの周知による防災意識の向上</li> </ul>
全地区・全リスク共通		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の結成による地域防災力の向上</li> <li>・避難行動要支援者の避難体制の確立</li> <li>・防災無線や SNS、ホームページにおける情報周知による防災意識の向上</li> <li>・各種施設における避難マニュアルの作成、避難訓練の実施等による避難体制の確立</li> <li>・一定の災害ハザードエリアを除外した居住誘導区域や区域指定制度の指定区域の設定と安全な居住誘導区域等への立地誘導</li> <li>・避難所への配水管の耐震化整備</li> <li>・災害時の各種協定締結事業者との連携</li> </ul>

■ 地区ごとの取組方針（位置図）



### 3. 主な取組みとスケジュール

---

取組方針を踏まえ、本町における防災まちづくりの取組みは、①防災関連施設の整備、②避難関連施設の整備、③共助による防災体制の構築、④ハザードに関する周知の4つを柱としています。

防災まちづくりの取組方針に基づく取組内容とスケジュールを、次のページに示すとおりを設定します。

リスク 対策	取組内容	実施 主体	実施時期 (破線は継続的な取組み)			対象となる災害			対象地域(住民系市街地)			
			短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (15年)	洪水	土砂 災害	大規模盛土 造成地	桜の郷 地区	前田・長岡 地区	小鶴 地区	奥谷 地区
<b>① 防災関連施設の整備</b>												
低減	久慈川・那珂川水系流域治水プロジェクトに基づく河道掘削による河川整備	県	→			○	—	—	—	○	○	○
	涸沼川堤防等の維持管理		→			○	—	—	—	○	○	○
	涸沼前川堤防等の維持管理		→			○	—	—	—	○	○	○
	排水機場の改築・維持管理	町	<改築> →			○	—	—	—	—	○	○
	防災拠点となる役場庁舎及び消防庁舎における浸水対策(止水板の設置など)		<維持管理> →			○	—	—	—	—	—	○
<b>② 避難関連施設の整備</b>												
低減	新たな避難場所の整備・検討	町	→			○	○	—	—	—	○	○
	高台への避難路の整備・検討		→			○	—	—	—	○	○	○
	避難所への配水管の耐震化・検討		→			○	○	○	○	○	○	○
<b>③ 共助による防災体制の構築</b>												
低減	避難行動要支援者支援制度に基づく避難行動計画の作成・運用	町 住民 事業者	<作成> →			○	○	○	○	○	○	○
	自主防災組織の結成に向けた支援	町	→			○	○	○	○	○	○	○
	自主防災組織の活動支援	町	→			○	○	○	○	○	○	○
	自主防災組織の活動への参加	住民 事業者	→			○	○	○	○	○	○	○
	災害時の各種協定締結事業者との連携	町 事業者	→			○	○	○	○	○	○	○
<b>④ ハザードに関する周知</b>												
低減	防災マップや各種ハザードマップ等を活用した災害ハザードの周知と把握	町 住民 事業者	→			○	○	○	○	○	○	○
	不動産事業者との連携による防災情報の周知	町 事業者	→			○	○	○	○	○	○	○
	マイ・タイムラインの作成・作成支援及び運用	町 住民 事業者	<作成> →			○	○	○	○	○	○	○
	防災無線や SNS、ホームページによる防災情報の提供	町 事業者	→			○	○	○	○	○	○	○
	各種施設における避難マニュアルの作成及び周知・運用	町 事業者	<作成・周知> →			○	○	○	○	○	○	○
回避	届出・勧告による居住誘導区域への立地誘導	町	→			○	○	○	○	○	○	